

第 3 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒100-0005
住 所 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
氏 名 日本リテールファンド投資法人
執行役員 難波 修一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 1 0 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本リテールファンド投資法人		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区日進町1-11		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業， 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	貸事務所業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量	3,374	k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	H29年度 ～ H31年度 (報告年度 H30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排 出 量	(実) 5,998 (調) 6,887 t-CO ₂	(実) 5,904 (調) 6,782 t-CO ₂	(実) 5,779 (調) 6,584 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂	(実) 5,818 (調) t-CO ₂
削 減 率		(実) 1.6 % (調) 1.5 %	(実) 3.7 % (調) 4.4 %	(実) (調) %	(実) 3.0 % (調) %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原 単 位 の 活 動 量			単 位		
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排 出 量 原単位等の値					
削 減 率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	前年度比較して、電気量で2.1%減。ガス使用量で1.3%減。CO ₂ 排出量としては1.6%減となった。冷温水発生機の熱交換器チューブ洗浄等の定期整備により高効率運転することにより削減できた。
第2年度	前年度比較して、電気量で9%減。ガス使用量で1.5%増。CO ₂ 排出量としては2.1%減となった。ガス使用量増の主な原因は、スクリー冷凍機の故障(フィルター)により、代わりに冷温水発生機の運転を行ったため。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	1. 既設機器の運用を見直し。 2. 高効率照明の採用。LED照明への更新 3. 熱源及び特高の更新検討
	第1年度	1. 各空調、照明稼働スケジュールの見直しを実施。 2. ストリートイスカクタ手すり照明のLED化のH30年度実施に向け、具体計画を策定。 3. 熱源及び特高の更新の検討を実施。(熱源、特高更新に向けて外部機関にて更新機器の選定。熱源、電力の需要実績と将来動向を踏まえた受変電設備の配置、容量等の検討を実施した。)
	第2年度	1. 各空調、照明稼働スケジュールの見直しを実施。 2. ストリートイスカクタ(外部)の手すり照明のLED化を実施。 3. 第1年度に引き続き、熱源及び特高の更新の検討を実施。(熱源、特高更新に向けて外部機関にて更新機器の選定。熱源、電力の需要実績と将来動向を踏まえた受変電設備の配置、容量等の検討を実施した。)
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種 類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	7,085	t-CO ₂
(調)	7,694	

イ 第3号該当者等

(実)	t-CO ₂
(調)	

(2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎ルフロン	川崎市川崎区日進町1-11	6911	貸事務所業	7,085 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--